

## 中2英語 比較⑥ ドリル2 書く

中2/as ~ as の文を書く(書く)

なまえ \_\_\_\_\_

ひづけ \_\_\_\_\_

きまり 「同じくらい」は as + もとの形 + as

**as ~ as**

同じくらい

Ken is as tall as Aya.

あいだは もとの形

**not as**

~ほど ~ない

Ken is not as tall as Aya.

not は as の前

**not as**

not の位置

not as ○ as not ×

as の前に not

**入れかえる**

書きかえ

than ⇔ not as ~ as

主語と あいてを 入れかえる

as と as のあいだには、もとの形(er や more のない形)を入れる。

A is older than B. = B is not as old as A. (主語と あいてを 入れかえる)

- ・ 1は、線の上に語を書こう(もとの形、as、not)。
- ・ 2は、日本語に合う文を書こう。( )の語を使う。
- ・ is ・ not ・ as は自分で 足す。

### 1 線の上に書く(もとの形・as・not)

ヒント ( ) は比べる形

- (1) Hana is as \_\_\_\_\_ as Kate. [older]
- (2) Tom is \_\_\_\_\_ strong \_\_\_\_\_ Jack.
- (3) Ben is \_\_\_\_\_ as heavy as Mike. [ではない]
- (4) Mika is as \_\_\_\_\_ as Aya. [busier]
- (5) Emi is \_\_\_\_\_ light \_\_\_\_\_ Hana.
- (6) Kate is \_\_\_\_\_ as old as Lucy. [ではない]
- (7) This bag is as \_\_\_\_\_ as that bag. [cheaper]
- (8) Tom runs \_\_\_\_\_ fast \_\_\_\_\_ Ben.

### 2 日本語に合う文を書く

- (1) ベンは ジャックと 同じくらい 強い。(Ben / strong / Jack)  
→ \_\_\_\_\_
- (2) この かばんは あの かばんほど 重くない。(This bag / heavy / that bag)  
→ \_\_\_\_\_
- (3) トムは ボブと 同じくらい 速く 走る。(Tom runs / fast / Bob)  
→ \_\_\_\_\_
- (4) ミカは エミほど 年上ではない。(Mika / old / Emi)  
→ \_\_\_\_\_

見直し ☐ as と as のあいだを見た ☐ 2は文のはじめを大文字にした まちがい ( ) 問

